

令和6年度 園評価

(園名) 大垣市立ゆりかご保育園

【園目標】心豊かな たくましい子 げんきな子 かんがえる子 やさしい子	【前年度の成果と課題】 安全環境整備については、自己評価、保護者評価共に高かったが、その他においては、職員の自己評価と保護者評価との乖離があるため、次年度改めて取り組む。特に、より一層の体作り、子ども自身が遊びを選択し遊び込める環境構成、年齢に応じた気持ちのコントロール、保護者とのコミュニケーションの在り方について課題とし、取り組む。また、能登半島地震を受け安全環境整備においても、改めて見直し安全管理に向ける。
--	--

4段階評価

○保育者 ☆関係者

観 点		短期目標(評価項目)	自己 評価	保護者 評価	評価及び意見の概要
子 ど も へ の 保 育 ・ 教 育	身 体 的 発 達	体を動かす心地よさを知り、子ども自ら活動的に遊ぶ	3.7	3.9	○気候に応じた環境の工夫をしながら、戸外遊びの時間を多く設けたことで、体育ちにつながり、子どもたちが活発になった。 ○体力がついたことで、様々な面における意欲が高まり、精神的・社会的な育ちにつながった。 ●子どもがやってみようとする主体的に遊び出せるような魅力的な環境づくりが行えるよう研究を進めたい。 ☆子どもたちが体を使って遊べる運動をたくさんしてもらえており、体力がついたと感じる。 ☆児童期においても、体力の低下が課題となっている。体作りは生涯に渡り大切なこと。継続して取り組んでほしい。
	社 会 的 発 達	親しみをもって人と関わり、自分の素直な思いを表現したり、話を聞いて相手の思いや考えに気づいたりする	2.8	3.6	○園庭での日常的な異年齢交流が増えた。また、触れ合い遊びやスキンシップの機会を仕組んだことで、互に関わり方が上手になり、憧れの気持ちや思いやりの心が育まれた。 ●園においては、自分の思いを相手に伝えるように話す、人の話を聞く、相手の気持ちに気付く等の力に課題を感じる。今後は、この点について家庭と相互理解を図り、園と家庭それぞれの生活の中での人との関わり、会話を大切に、豊かな心の土台を築いていけるようにしたい。 ☆異年齢の関わりが少なくなっている時代だからこそ、遊びの中で関わり合う時間が大切である。 ☆子どもが自分のよさに気付くこと。大人が褒めて価値づけながら子どもが自己肯定感を高め、個性を伸ばしていけることが大事である。
	精 神 的 発 達	興味関心を広げ、自らやりたい遊びを見つけて繰り返し楽しむ	3.4	3.9	○子どもの思いを実現できるような環境を整えていくことで、子どもがやりたい遊びを自ら選択し、主体的に活動する姿につながった。 ●終礼や週案会、集会等で各クラスの盛んな遊びを紹介し合い、全職員が園全体の動きを把握したり、保育の引き出しを広げたりし、豊かな遊び環境づくりに努めたい。 ☆遊びに子どもの考えが詰まっており面白い。大人の決めつけはよくない。子どもの自由な発想、自分で考えて遊ぶ機会、子どものやってみようとする気持ちを大切にしてほしい。
体 実 制 施 全 運 般 営 管 理	危 機 管 理	大震災時に適切かつ迅速に対応できるよう改善を図り、体制を整備する	3.4	3.8	○震災の専門家による助言を活かし、園外保育中、けが人発生時等様々な状況を想定して訓練を行った。職員それぞれの気付きを共有し、よりよい避難方法や体制の見直しを重ねた。 ●改善を図ることにより、長時間にわたる避難や引渡し方法等新たな課題が見えてきた。更に対応策が講じられるよう継続して取り組みたい。 ☆家庭での地震の際にも、子どもがテーブルの下に避難する姿を見て、身の守り方が身についていると感じた。
に 子 保 対 育 護 す て 者 る ・ ・ 支 家 地 援 庭 域 等 の 支 援	保 護 者 支 援	園と家庭が子どもの育ちを共有しながら、協働的な子育てを行う	3.6	3.8	○アプリ配信により、タイムリーで見やすい配信ができた。また、家庭で活かしていただけるような発信に努めたことで、子どもが園での経験を家庭で話したり表現したりすることにつながった。家庭に園の様子を知ってもらえ、送迎時の保護者との会話も広がった。 ●写真と文面が見やすく、園の保育の様子や意図がより伝わりやすい構成に工夫したい。 ☆コロナ禍が収まり、行事や日常の活動が本来に戻り、園の雰囲気は賑やかになった。また、その様子についての配信を通して、子どもが楽しめる内容となっていることや、保育の本質的な部分を大切にされていることが感じられた。

【次年度に向けて】

- ・子どもが主体的に遊び出たくなる教材や、対話が生まれる工夫など、魅力ある環境や援助方法について研究を進めたい。
- ・子どもの遊びや生活が、より連続性のあるものになるよう、話し合いを行い、立案につなげていく。
- ・新たに見えてきた防災課題について、更に対策を講じ、改善を図る。
- ・園の様子や保育の意図について、よりわかりやすく、関心を向けていただけるような発信に努め、家庭と園との協働的な子育てを進めたい。